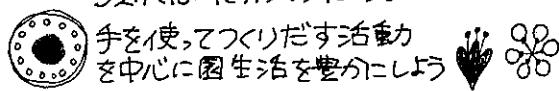


# ゆりかご園だより

3期(10~12月)のねらい

2021-11-1



手を使つくりだす活動

を中心園生活を豊かにしよう



緊急事態宣言中控えていた、園の見学を再開しています。来年4月入所を希望される方の申込み締め切りが11月末ということもあって、連日多くの方が園を訪れています。

これだけ保育園の数が多くなっているので、どのような点を優先して入所を考えていらっしゃるのか…。場所の利便性？園舎や園庭の広さ？見学に来られた方には、「5年間の無認可時代を経て、当時の保護者と職員が運動で作った保育園」だということ、そして、「大人たちが協力し合って子どもの成長を応援していく園」だということをお伝えしています。保護者の関わる行事が多く、日々面倒と思われるかもしれません。私たちもそれが大切だと思っています。

先月行われた運動会、どのような形でやら開催できるか？今年も理事会と父母の会、職員会の三者が集まって矢口懇を出し合って方向を探りました。新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言が発出されたことや選挙のため、開催日が二転三転してしまい、皆様には大変ご迷惑をおかけしました。申し訳ありません。保育の中で行なったものを業者が録画し、DVDにして販売する園や開催を断念する園が多い中、平日にミニ運動会を、そして制限がありながらも小学校の体育館で開催できたことに感謝いたします。ミニ運動会の様子は父母の会のNさんが撮影してくださいました。(DVDを貸し出しますのでお楽しみに)

大人たちの協力という点では、保護者同士の関係、保護者と職員の関係は、他園に比べ距離感が近いと思います。

つい分前に年長クラスを担任した時のことです。卒園文集を作ることになり、ある保護者の原稿に「わが子への質問コーナー」がありました。その中の「好きな先生は？」の問いにその子は私の名前をあげてくれたのですが、担当したのは1年だけだったので「私でいいのかなあ」と思い、その保護者に声をかけたところ、返ってきたことばにとても嬉しくなりました。「年長の先生は得ですね。子どもは小さかった頃のことは覚えてないんですね。この子がこの保育園で多くの先生にどれだけ大切にされ愛されて育ってきたか伝えていくのは私たち親類の役目です」とおしゃってくださいました。

運動会会場でわが子だけでなく他の子にも声援を送る保護者たちを見て、ゆりかごの子たちは多くの大人们的温かいまなざしを浴びて大きくなるいくのだなあと思いました。

